

令和7年度第3回文京区立中学校部活動地域展開に係る合同部活動検討ワーキング・グループ 記録の概要

日時：令和7年8月27日(水) 14時30分から16時00分まで

場所：オンライン

○「休日における部活動の地域展開」について（資料1）

【事務局からの説明】

- ・第2回の後、委員の先生方を直接訪問し意見を交換した。資料1は、その際にいただいた意見等を加味し、今後の方向性についてまとめたものである。

【主な意見等】

- ・9月は一通りの大会も終わっているので、混乱を避けるためにも3年生は募らず1・2年生のみを対象とするのがよい。
- ・休日は中体連の大会が重なることが多いので、「大会（中体連以外）」の「（中体連以外）」部分は削除した方がよい。
- ・中体連の大会に参加したい地域クラブが出てくる可能性もある。
- ・中体連に個人として登録する種目では、部活と地域クラブで二重登録になるとトラブルになる可能性がある。
- ・小学生への学校説明会（9・10月）では部活動の案内をしたい。どの学校にどの部活があり何を募集しているのか、小学生が知ったうえで学校選択ができるとよい。
 - －校長会・教員・保護者・生徒の順番で説明する必要がある、制度の変更についての周知は必要である。学校によって部活動に関する説明に差が出ないように、学校説明会では最低でもどの話をすべきか検討していく。
- ・委託内容の「安全管理」について、土日にトラブルが発生し、月曜に教員に報告する形式は良くないと思う。
 - －同じく委託内容にある「生徒指導」と一体のため、まず事業者がトラブル・保護者対応をする。ただ、いじめの場合は「いじめ法」により、学校外のケースであっても教員の対応になる可能性がある。
- ・道具の管理について、学校の道具を使用するとなると紛失・故障が心配である。
- ・参加費用について、参加自体無料なのは理解したが、部活動によっては現在でも部費を徴収している。責任の所在などはどうなるか。
 - －関係部署と協議しながら検討していく。
- ・人数制限を設ける予定はあるか？
 - －拠点校の数にもよるが、現時点では想定していない。今後の意向調査で大体の参加人数を把握していく予定。そこで拠点校の数を増やす、もしくは人数を制限するか決定できると考えている。
- ・部活動を継続する場合、チームメイトが大会当日に地域クラブに参加し、部活動に参加できない場合が考えられるなど、チームを作るのが難しいデメリットがある。
- ・拠点校までの移動の交通費について、保護者の負担になってしまうのではないかと。
 - －都や国の補助金の兼ね合いにもよるが、費用を理由として参加できないことはないようにした

い。

○地域クラブ活動の拠点校について（資料２）

【事務局からの説明】

- ・部員数は令和６年度の部活動状況調査の結果なので参考程度となる。
- ・拠点校を決めるための基本的な要素は、１つの学校で校庭種目・体育館種目がそれぞれ重複しないこと、特定の学校に負担が極端に偏らないことを前提に検討したが、あくまで案の段階であり、今後の申込状況や会場の確保状況で決めていく。

【主な意見等】

- ・野球部は一中が拠点校になっているが、それぞれの学校が自校で部活動の実施を選択したら、拠点校には行かなくてよいか。
－行かなくてよい。
- ・拠点校ごとの参加人数が想像より多い。事務局ではどの程度の人数で想定しているか。
－５月に行ったアンケートの結果から、全ての人数の合計の５～６割、もしくはそれより少ないと想定している。
- ・拠点校となる場合、他校の生徒も来るのは不安であり、連絡手段（意思疎通）の煩雑さがある。
- ・部員数が多い体育館種目では、練習場のキャパシティ的に厳しい。体育館使用の際に混乱が懸念される。
- ・希望している種目のない学校の生徒が休日の地域クラブ活動に参加する場合、自身の通っている学校の近くの学校に参加してよいか。
－今後の平日の地域展開も考慮し、原則は近い方に参加いただく。ただし、文京区は学校選択があるので、学校に近い＝自宅に近いではない。その点も考慮すべきである。

○その他

- ・次回開催日程の確認
- ・今後の予定